



# しにかわ 報 広

人口の動き	
2月1日現在	
男	5768(-5)
女	5902(-25)
計	11670(-30)
世帯数	2541(-2)
( )内は前月との比較	

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社



## かんのうスキー場

1月30日、中仙田のこのスキー場は午前は中学生、午後は小学生のすべる姿でにぎわいました。写真のときは、スキーのすべる音と指導する先生の声だけがひびいて、それは真剣な練習風景でした。

## 行事

- 二月
- 九・十日 仙田地区農林業センサス調査会。同審査会は十三日に橋地区、十六日に千手地区、十七日に上野地区で開く。
- 十一日 スキー教室、九時半から角万寺スキー場で新教程の講習を中心に。
- 十四日 消防団幹部会
- 二十一日 新大へき地研究生来町高倉で二十八日まで実習。
- 二十四日 婦人会役員研修会、午後一時から橋出張所で。
- 二十五日 広域消防特別委員会
- 三月
- 二日 嘱託員会議(山田地区)
- 三日 同 (上野、橋地区)
- 四日 同 (千手地区)

## 町政コーナー

節分が過ぎて暦の上では春となつたわけである。しかし現実の二月は最も積雪量の多い季節である。したがって雪とのたたかいの手をゆるめるのはまだ早い。

むしろ最もきびしいピークにさしかかったというべきかも知れない。豪雪対策のきめ手は何といつても道路交通の確保であるが、現在までのところ、ことしの道路無雪化対策は画期的な成果をあげている。これは、昨年及び一昨年のような大雪に見舞われなかったという自然的条件や、全区ニュー・スとなった飯山線高場山トンネル地すべり事件の影響で、川西まわり路線確保の必要度が高まったこと等もあるが、千手地区に滑雪パイプが設置されたこと、上野以北の二種線格上げが実現したこと、除雪機械が増強されたこと等とともに、除雪協力が結成されて町ぐるみの除雪体制がしかれたことなどが総合的に大きい効果を出している。

節分が過ぎて暦の上では春となつたわけである。しかし現実の二月は最も積雪量の多い季節である。したがって雪とのたたかいの手をゆるめるのはまだ早い。

むしろ最もきびしいピークにさしかかったというべきかも知れない。豪雪対策のきめ手は何といつても道路交通の確保であるが、現在までのところ、ことしの道路無雪化対策は画期的な成果をあげている。これは、昨年及び一昨年のような大雪に見舞われなかったという自然的条件や、全区ニュー・スとなった飯山線高場山トンネル地すべり事件の影響で、川西まわり路線確保の必要度が高まったこと等もあるが、千手地区に滑雪パイプが設置されたこと、上野以北の二種線格上げが実現したこと、除雪機械が増強されたこと等とともに、除雪協力が結成されて町ぐるみの除雪体制がしかれたことなどが総合的に大きい効果を出している。

果を發揮したものといえよう。雪上車の増強とともに小型玉雪機も一挙に数台配置されて、道つちに活躍していることも特筆すべきことである。

土不課を核として町ぐるみで努力すれば、この豪雪もりっぱに克服できるということが実現されたわけであり、これによって懸案の学校統合も大きく前進する見通しがついたといふよい。

一月三十一日にきまった区の予算の政府原案の中で、米の生産を減らすための奨励金が八百十四億円計上されている。又の生産調整は、まだ県側の段階においても流政的で、形において直接具体的な措置をする段階に至っていない。しかし前述に追っている作付前に必ず直直に追ければならぬ問題である。このため町では二月二日議会、農政、農協等の関係者を招き、県の説明会結果報告を兼ねて、情勢分析や今後の見直し等について協議した。米に対する依存度が圧倒的に高い町の農業にとって作付転換ということとはことしの最大の問題点である。(M)

# 町議会報告

## 一般会計(補正で)四億円の規模に

### 高場山トンネル崩壊の対策も協議

昭和四十五年の暮あき、第一回町議会臨時会は一月二十六日に招集、翌二十七日と二日間の会期中一般・特別各会計補正予算や条例制定、請願等あわせて十一件を審議した。なお、閉会後、全員協議会を開いて国鉄飯山線越後川口・岩沢世の高場山トンネル復旧問題について協議した。

## 特別職報酬 審議会を設置

審議のあらましは次のとおりである。

①川西町報酬・賃金並びに実費弁償に関する条例の一部改正を原案と可決。これは議

詐欺・おとし、交通事故などで被害にあい、警察や検察庁に訴えたが検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうも納得できない。そんな不満をもっているかたはいませんか？

そのような場合には、そのまま泣き寝入りしないで検察審査会にご相談ください。

## 審査会のしごと

検察審査会というのは、選挙人名簿をもとにクジで選んだ民間人の代表・十一人の検察審査員が、検察官の仕事のやり方を

員の報酬をアップするのが内容

この結果、一月から月額で議長は二万六千円(改定前二万三千円)、副議長二万五千円(同一万八千円)、議員は一万七千円(同一万五千円)となった。

②役場庁舎の増築・整備の資金にあてるため基金を設置することを定めた一川西町役場庁舎建設基金の設置・管理及び処分に

③川西町特別職報酬審議会条例の制定を原案と可決し、この

④四十四年川西町一般会計、国保事業・間施設・農業共済・千手簡易水道各特別会計の補正

⑤請願関係は二件で、前回土庫委員会に付託した中仙田の簡易水道設置請願を委員長報告の

## こんな場合どうしたらよいか

場会にあっては実地検分などとして議決します。そして、議決を参考に、検事正が事件を起訴すべきかどうかを起訴の

審査する際の制度です。検察官の行った不起訴処分

犯罪を告訴・告発した人や犯罪によって害を受けた人、検

罪に引かれて被害を受けた人、検察官の不起訴処分を不服と

「事務所の所在地」長岡市信濃二丁目六番一号、新潟地方裁

審査員事務局長(千九四〇)

## 「高場山対策」 県道の完全舗装へ

本会議に引き続いて開かれた全

員協議会では、一月十七日に関係六町町村からなる高場山道路交通確保協議会が発足している状況な

①高場山トンネル崩壊の影響が大

②北越北線の早期完成、以上の

③五日午後一時から、役場川西町正選挙推進協議会(太田

委員のみならず各種団体や機

この日は、総選挙の反省から

## 献血手帳の利用

献血手帳は全区共通

献血手帳は全区共通です。東京

①北越北線の早期完成、以上の

②北越北線の早期完成、以上の

③五日午後一時から、役場川西町正選挙推進協議会(太田

委員のみならず各種団体や機

この日は、総選挙の反省から



る一月二十  
九日の午後  
千手地区の分  
匠の血圧測定が  
あるというので  
診療所の会場へ  
出向くと、定められた二時

はかりの間に六十人もの人々

十日の金曜日、山田へき地診

①月という月は、逃げる月

②月という月は、逃げる月

③月という月は、逃げる月

④月という月は、逃げる月

⑤月という月は、逃げる月

## 明正の声明文

協議会で決める

さる五日午後一時から、役場川西町正選挙推進協議会(太田

委員のみならず各種団体や機

この日は、総選挙の反省から

## 寒中見舞を どうぞ

年天から年始と忙しさが一段落

した二月は、寒中見舞を出すの

よい時期です。

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

年賀状を出し忘れたり、相手方

# いま、あなたの周囲で 冬の防災態勢は万全ですか？

## ① 交通事故防止推進の日・防犯対策反省の日の設定

このふたつの推進日・反省日を設けたことは、すでに「交通安全・防犯運動の進め方について」という文書を配りしたのでご存じでしょう。

いずれも町が本部となって推進してゆきますが、みなさんも、このふたつの日を中心に安全を守る習慣を徹底させてください。

〓 交通安全防止推進の日は毎月十日

〓 家族全員で交通ルールを守ることを

とを確認する。

〓 家庭・職場・学校等で交通安全を確認する。

〓 関係機関で街頭における事故防止を呼びかける。

〓 防犯対策反省の日  
は毎月二十日

〓 非行の原因となる内容の点検  
〓 金融機関などの防犯連絡ベルの点検

〓 家庭の戸締り・施設施設の点検  
〓 区域防犯組織の強化

## ② 臨時駐車禁止区域設定

道路除雪と交通の円滑をはかるため、県の公安委員会では昨年十二月二十五日からことしの三月三十一日までの間、次の区域を駐車禁止に指定しました。違反のないようにしてください。

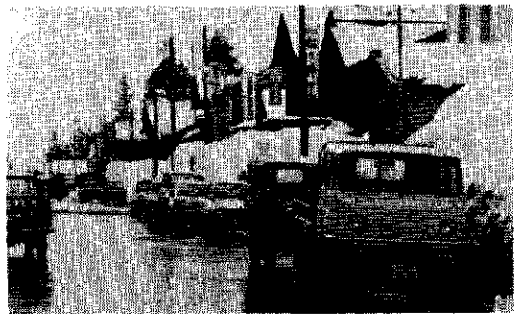
- ・ 千手地内全域
- ・ 上野の内出地全域
- ・ 稀の仁田・野口全域

## ③ 雪に関する対策

イ、家庭では

- ▽ 雪おろしは早めに
- ▽ 除雪区間の道路に雪を止さない
- ▽ 停電に備え暖中電灯の用意を
- ▽ 火気の取扱いに注意を

ロ、公衆の集まるところでは



→ 車が多い路上はキケンでいっぱい。(二安通り)

▽ 屋根の除雪、非貫口・避難口の道路の除雪を万全に。

▽ 火気の取扱いは責任者を決めてハ、なだれ事故の防止

▽ 危険が所目標識を

▽ 通関・通学道路はよく点検し、状況によっては父兄の付添いを

## 米寿のお祝い

→ としては十人に

町の社会福祉協議会では、毎年呼び年八十八歳になられたかたに長寿をお祝いして記念の座ぶとんを贈っています。

このほご座ぶとんをお贈りしたことしの該当者は十人で、明治十六年生まれの次のかたがたです。

- 大久保、マ(其 作)野口
- 水落長一郎(本人)仁田
- 増田 リヨ(与 作)室島

## 2月の

### 心配ごと相談日

今月(十日以降)の心配ごと相談は次の予定です。たれでも、どんな心配ごとでも相談に応じます。どうぞご利用ください。

▽ 期日 十二・十八・二十五日  
▽ 時間 午後一～三時  
▽ 場所 中央公民館

## 全国クォールに入賞

川西中の生徒が

▽ 名作読後感想文全国コンクール 三位(二年)丸山忠子、佳作(二年)小林照子、ほかに学校賞。

▽ 全国手芸コンクール 銀賞(二年)高野淳子、学習研究社賞(三年) 署名ふくみ。

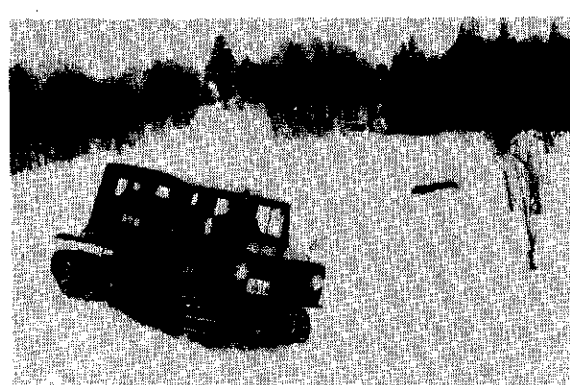
## 嘱託員さま

- 〓 千手地区
- 〓 永久公舎、斎藤喜一 〓 神社町 小林浩康 〓 木島公舎、斎藤光夫
- 〓 高原田、丸山愛蔵
- 〓 上野地区
- 〓 上野、上村忠雄 〓 元町、押木

# 広報フレッチ

## 雪上車の活躍

町に雪上車第一号がお目見えしたのは四十三年十二月。写真の雪上車はいわば第二号で、つい昨年春にいられたもの。最初には比べてやや小型、雪上車としてはもっとも小さい。



この雪上車を運転する伊友の福橋さんが話してくれたのは、星名新田だけですでに四回往復していること、時速二十七キロという能書きだが十キロ程度がふたんのペースであること、かなりの急坂をタテならものもしないがココに進むときは噴すべりが激しい、そんなことでした。

## 民俗資料

【一月分】

- 元男 〓 三領、水品正一郎 〓 平新田、沢口武三郎 〓 尾名新田 田村文作 〓 小根橋、小海喜三郎
  - 〓 橋 地区
  - 〓 原田、丸山英一 〓 下原、田中久之
  - 〓 仙田地区
  - 〓 中仙田、小林正人 〓 室島、田村才一郎 〓 大白倉、桐生四方吉
  - 〓 大倉、中條清隆 〓 高倉、菅木
- ※ 寄贈者(敬称略・受付順)  
小林米作(中仙田) 高橋幸治(中仙田出身・東京仁丹会長) ※ おもたえ手品 腰弁当、旧日本銀行券及び日本銀行たかん券



### 入学日をもつめる目

就学前の健康診断のとき、一番印象的なのは期待とほんの少し不安が入りまじった子どもたちの目です。写真は、上が橋小で、下は千手小で撮影したものです。



## 所得税の確定申告

相談日は

3月5・6・9日

◆所得税の申告と納税、個人事業税・住民税の申告期限は三月十六日です。(ことしは三月十五日が日曜日のため。)

◆所得税の確定申告をするかたは別に、個人事業税・住民税の申告をする必要はありませんが、所得税の確定申告書の「住民税・事業税に関する事項」欄を忘れずに記入してください。  
◆また、税務署から期日を指定した相談日の案内があったかたは、なるべく都合をつけて指定の日に出かけ願います。  
◆納税相談には、確定申告書の自分で記入できる部分にはあらかじめ

記入し、証明書の添付を必要とするものは忘れずに添付のうえ出席してください。  
◆川西町の納税相談日程は次のとおりです。  
期三 三月五日・六日・九日  
場三 川西町役場四階会議室

### 譲渡所得や

贈与税も忘れずに

◆譲渡所得の計算には、一般の場合のほか租税特別措置法による特例があったり、ことしは特に新二地税制によって新法・旧法二おりの計算を行ない、納税者の有利な方で申告していただきます。したがって、申告も複雑ですから、該当されるかたは税務署の資産税係で相談されて、誤りのない申告をお願いいたします。  
◆贈与税は、一年間に個人からも

## 身体障害者の

### 職業訓練生募集

身体障害者のかたがたの自立に役立てるため、東京身体障害者職業訓練校という学校があるのをこの春でしようか。この学校で、本年四月入校生を募集するので、そのあらしを伝えします。  
○入校資格  
身体障害者で義務教育終了者または同程度の能力を有し、人

の助けを借りないで自分の手が足せる方なら入校できます。  
○訓練職種  
事務・機械製図・時計・木工・塗装・製くつ・洋裁・和裁・編物・義肢(し)器具・刻印  
○訓練期間  
一か年。ただし、編物のみ六か月。  
○募集期間  
去年十一月から募集開始、三月七日まで受け付けます。  
○応募  
面接、訓練校へ申込みするが公共職業安定所の身体障害者係を通じて手続きをします。  
東京身体障害者職業訓練校  
東京都小平市小川西町 二二六四  
(郵便番号)一八七七

### 藤巻さんが

#### 社協へ寄付

塩辛の藤巻シノさん(69)からこのほど町社会福祉協議会において、社会福祉に役だててほしいと千円の寄付がありました。

## 戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに  
横山 美晴 國六 長女 中島町

西雲 雄司	政一	二男	中仙山
日邊 智広	勝義	長男	神社町
水落 哲也	宏志	三男	仁用
村越 直枝	重次	長女	野口
樋口 弘子	實	長女	出戸
高橋 隆行	又一郎	三男	高倉
茂野 正之	國正	長男	中屋敷
上村 直樹	幸一	長男	下平新田
小林 吉巳	晃	二男	中屋敷
高橋 智美	久平	長女	大白倉
井川 克久	久清	長男	新新田
高橋 和美	栄	長女	大白倉
清水 恵一	正	長男	木島
柄澤 敏枝	勝好	長女	沖立
南雲 明子	喜一	長女	田中
佐藤 真一	勇作	長男	藤沢
保坂 仁	精一	長男	沖立
川崎 静夫	清一	長男	越ヶ沢

### たかさこ一円満に

- 新郷 星名 修治 伊友
- 新郷 高井 洋子 千葉果から
- 新郷 茂野 武弘 藤沢
- 新郷 中山けさよ 長野真から

### 昇天—ごめい福を祈る

若山 一郎	新町新田	二三
小林 タカ	中屋敷	五〇
清水 ヤキ	寺尾	五九
廣田 重作	沖立	六一
井川 榮作	新町新田	六四
水落 林平	仁田	六八
星名 善太	高原田	七一
滋野 ハル	野口	七二
高橋 モト	高倉	七三
内山福太郎	新町新田	七四
登坂 峯治	赤谷	七五
中島 マン	上野	七六
長谷川 貞治	赤谷	七八
屋名 カノ	伊友	七九
片桐権三郎	大白倉	七九

## 固定資産課税 台帳の縦覧

3月2日〜20日

昭和四十五年度分の固定資産税算定のもとになる固定資産課税台帳を縦覧いたします。

四十五年度は、土地・家屋の場合、三年ごとの基準年度にあたるので、詳細審査を行ないました。したがって、前年度とは若干変わった価格になっています。

縦覧の日時 三月二日から二十日まで、休日を除く日の午前八時半から午後五時(土曜は午前中)まで。

縦覧の場所 税務課



### かわにし 俳壇

太田白南風選

○頂上に古城址おきて山眠る  
○地吹雪に捲かれ一瞬後向き  
深雪を着て山沿いに眠る村  
元町 金子 鉄平

春の月残してながき貨車が発つ  
ふるさとの寝屋根厚き春日和  
室 高橋 福仁  
蒙布にアンテナ曲り渠に入る  
小白倉 江口 凡石

風邪声の行商人の去り行かず  
元町 田畑 東洋  
角巻を脱ぎて贈着の娘となりぬ  
原 恒沖とさ子

年の瀬の我孫子の賑の風渡みて松  
原の兒ゆ青き妻見ゆ  
朝やじの茜の空に燃え出す赤き  
太陽に今日を占う